

**平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第1回中央区役所部会議事録**

1 日時：平成25年8月1日（木）午前10時00分～午後12時30分

2 場所：千葉市中央区蘇我コミュニティセンター 1階 行政室

3 出席者：

(1) 委員

横山清亮委員（部会長）、篠原榮一委員（副部会長）、淡路睦委員、武井雅光委員、伊藤雪代委員

(2) 事務局

志村中央区長、湯川地域づくり支援室長、野中主査、荒井主任主事

4 議題：

(1) 部会長及び副部会長の選出について

(2) 平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市中央区蘇我コミュニティセンターについて

(3) その他

5 議事概要：

(1) 部会長及び副部会長の選出について

委員の互選により、横山委員を部会長に、篠原委員を副部会長に選出した。

(2) 平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市中央区蘇我コミュニティセンターについて

平成24年度に千葉市中央区蘇我コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(3) その他

今後の年度評価のスケジュールについて、事務局から説明をした。

6 会議経過：

○司会 では、時間となりましたので、ただいまより平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回中央区役所部会を開会いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます、地域振興課の野中でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日、地球温暖化防止の取り組みの一環として、職員は軽装とさせていただきます。あらかじめご了承くださいと存じます。

それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

まず皆様のところに、A4のフラットファイルでお配りしているものがございます。中身は、この後ご説明いたします。それから、諮問書の写しですね。それから、年度評価の進め方、それから、蘇我コミュニティセンターの案内がございます。

フラットファイルの中身なんですけれども、次第、それから、資料の1といたしまして千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回中央区役所部会進行表。それから、資料2といたしまして、中央区役所部会の委員名簿。資料3、中央区役所部会で審議する公の施設一覧。それから資料4-1といたしまして、千葉市中央区蘇我コミュニティセンター平成24年度指定管理者評価シートがございます。事前にちょっとご意見をいただきまして、評価シートの内容を一部変更させていただいております、A3の紙を皆様の机の上にお配りしてあるんですけれども、その変更内容が書いてございます。

簡単にご説明いたしますと、評価シートの3ページ、(2)の利用状況のところの①番利用者数のところですね。利用者数のところの稼働率を諸室と全体に表を区分しております。そこが変わったところですね。それから、同じく3ページの(3)の収支状況の②番のところですね。収支実績の備考欄に記載をいたしております。それから、③の収支実績表のところですね。対計画増減額のところですが、数値が誤ってございましたので修正をいたしました。それから、4ページになるんですけれども、3番の利用者ニーズ満足等の把握のところですね。指定管理者が行った調査結果のところ、記載してある数値が小数点以下と小数点以上の部分であわせて記載してあるような状態になっておりましたので、小数点以下を切り捨てた形で、数字のほうを整えてあります。それから、同じく4ページ、4番の指定管理者による自己評価のところ、アとイとオとカについて、一部記載を加えております。それらが変わったところがございます。

それから、フラットファイルの資料4-2として、千葉市中央区蘇我コミュニティセンターの平成24年度事業計画書、資料4-3として、千葉市中央区蘇我コミュニティセンター平成24年度事業報告書、資料4-4として、千葉市中央区蘇我コミュニティセンター指定管理者財務諸表(3か年分)。それから、資料5に今後の予定でございます。

参考資料1として、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例。参考資料2として、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について。それから、参考資料3といたしまして、部会の設置について、これがつづられております。不足等ございましたら、お知らせいただきたいと思います。

次に、会議の成立についてですが、本日は全ての委員さんにご出席をいただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定に関する条例第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

また、本日の会議でございますけれども、市の情報公開条例第25条に基づきまして公開となっておりますので、お知らせをいたします。

それでは、開会に当たりまして、志村中央区長よりご挨拶を申し上げます。

○中央区長 おはようございます。中央区長の志村でございます。

指定管理者選定評価委員会の委員の皆様におかれましては、本日お忙しい中、またあいにくの天気の中、会議にご出席いただきましてありがとうございます。

さて、千葉市におきましては、いろいろな千葉市内の施設につきまして、民に任せられるものは民にというそういう発想のもと、指定管理者制度をその中の形で活用させていただいているところでございます。

この蘇我コミュニティセンターにおきましても、指定管理者制度をアクティオに平成23年4月から指定管理委託をしているところでございまして、本日は皆様方にこの指定管理者の管理運営状況につきまして、さまざまな形でご評価いただくところでございます。

何とぞ、これが本当に市民にとってよい形になっているかどうか、そこら辺の視点から厳正な審査のほどを、どうぞよろしく願いいたします。

○司会 次に、委員改選後初めての部会となりますことから、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

まず、公認会計士でいらっしゃいます、篠原榮一委員でございます。

○委員 篠原です。よろしくお願いいたします。

○司会 弁護士でいらっしゃいます、横山清亮委員でございます。

○委員 横山です。よろしくお願いいたします。

○司会 ちばぎん総合研究所主任研究員でいらっしゃいます、淡路睦委員でございます。

○委員 淡路です。よろしくお願いいたします。

○司会 中央区町内自治会連絡協議会理事でいらっしゃいます、武井雅光委員でございます。

○委員 武井でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 中央区公民館運営審議会副委員長でいらっしゃいます、伊藤雪代委員でございます。

○委員 伊藤です。よろしくお願いいたします。

○司会 以上、5名の皆様でございます。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

本日は、昨年7月の委員改選後初めての部会ですので、最初に部会長、副部会長の選任をお願いしたいと存じます。

部会長が決定するまでの間、志村区長が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○司会 よろしく申し上げます。

○仮議長 それでは、ただいまご承認をいただきましたので、仮議長として、部会長選任までの間、会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議題の1番でございますが、部会長及び副部会長の選出についてでございます。

す。

千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項によりますと、部会長、副部会長の選任は委員の互選によるものとされております。

どなたか、立候補または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○委員 部会長には、昨年から引き続いて、委員さんをお願いしたいと思います。また、副部会長のほうにつきましては、前年度も、会計の方がやられていたので、公認会計士の委員さんをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○仮議長 ありがとうございます。ただいま、委員からご意見をいただいたところですが、皆様方、何かご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

(異議なし)

○仮議長 ありがとうございます。

それでは横山委員さんを部会長に、篠原委員さんを副部会長をお願いするということでご承認をいただいたということで、よろしく願いいたします。

それでは、委員さん、委員さん、それぞれ会長席へお願いします。ただいま用意いたしますので、席のほうへご移動をお願いいたします。

それでは、まずは、部会長さんと副部会長さんにご挨拶を頂戴したいと思いますので、まず、部会長さん、よろしく願いいたします。

○部会長 横山です。前期に引き続きまして部会長となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

○部会長 続きまして、副部会長さん、よろしく願いいたします。

○委員 本区の審議会は初めて入りまして、僕は、実は隣の市の四街道で、同じ指定管理者を6年ぐらいやっているんでしょうかね。中央省庁でも市場化テストをやっていて、ちょっと僕も悩み多い委員会だなと、皆さんにとっても負担が多いなど。いろいろと考えなくちゃいかん。総務省でもいろいろと考えていることを我々も少しは役に立つ方向に触れていければと思います。よろしく願いいたします。

○仮議長 よろしく願いいたします。それでは、仮議長の役を、私は解かしていただきまして、この後は部会長さんをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○部会長 それでは、議題2、平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、審議いたします。

最初に、事務局より、本日の部会（年度評価）の進め方についてご説明をお願いします。

○事務局 お手元の資料、年度評価の進め方に沿って説明をさせていただきます。

まず初めに、この後、20分程度でコミュニティセンターをご視察いただきます。視察の終わった後、こちらに戻られましたら、平成24年度指定管理者評価シートの内容を中心に、昨年度の管理の実績、業務の履行状況などについて事務局よりご説明いたしまして、評価シート等に関する質疑応答をさせていただきます。

その後、選定評価委員会の意見に係る協議をしていただくわけですが、その前に指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、指定管理者の財務状況について、あらかじめ委員さんからご意見をいただきたいと存じます。

そして、最後に、委員の皆様からいただいたご意見・ご質疑をもとに、最終的に選定評

価委員会の意見といたしまして、施設の管理運営状況、財務状況等に関して部会の意見要旨ということで決定をさせていただきたいと思っております。

説明は以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。ただいまの事務局のご説明に対しまして、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○部会長 特にないようですので、この後、施設の視察を実施したいと思っております。事務局のほうでご案内をお願いします。

(視察)

○部会長 引き続き議題2の審議を続けます。

事務局より、評価シートについてのご説明をお願いします。

○事務局 私のほうから、評価シートに沿ってご説明いたします。

ファイルの4-1お開きいただけますか。インデックスが資料4-1と書いてあるかと思うんですが、それに沿ってご説明のほうをさせていただきます。よろしいでしょうか。

それでは、評価シートに関しましてご説明いたします。

最初に、1の基本情報でございますが、指定管理者はアクティオ株式会社、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5か年となっております。

次に、2の管理運営の実績、そのうちの(1)の主な実施事業でございますが、指定管理事業におきましては、諸室の貸し出し、先程見ていただいた各部屋の貸し出しです。あと、この建物の維持管理業務のほうを行っていただいております。そのほかに、年に一度コミュニティまつりというのがございまして、昨年度10月13日、14日に実施いたしまして、来場者数のほうは、こちらに書いてはございませんが、約3,500人、来場者数がございました。

次に、自主事業でございますが、ご覧のとおり、次ページまで続けて自主事業について記載がございます。これにつきましては、この施設、高齢者の方の利用が非常に多いんですが、高齢者からお子さんまで、幅広い世代が参加できる事業を全部で、昨年度は47事業を実施しました。概要は1、2ページに書いてあるとおりでございます。時間の都合で詳細は割愛をさせていただきます。

次に、3ページのほうをごらんいただきたいのですが、施設の利用状況でございます。

まず、①のほうが利用者数ということでございまして、このうち利用料金を徴収する諸室、今見ていただいた各部屋のことを諸室ということで集約させていただいておりますが、その諸室のほうの利用者数でございます。こちらにつきましては、24年度6万1,553人ということで、前年度の数値、右横に書いてございますが、前年度に比べて2%の増となっております。目標数値は6万8,000人でございますので、目標には達成できませんでしたが、大方9割の達成を得ているという状況でございます。そして施設全体では、24年度が12万2,267人ということで、前年度比で31%の増となっております。

続きまして、下の段のほうに移らせていただきまして、②の稼働率でございます。稼働率につきましては、諸室につきまして稼働率ということで出しております、こちらのほうが41.9%ということでございまして、前年度のポイントと比べまして2.1%増ということでございまして、目標に対しましても、ほぼ目標値を達成しておる状況でございます。

す。

続きまして、(3)の収支状況のほうに移らせていただきます。

まず一番上の収入のほうでございますけれども、こちらのほうは合計欄をごらんいただきたいと思えます。合計のほうが5,353万2,000円ということで、対計画比に對しましては99.4%の達成率ということでございます。

続きまして、②の支出実績のほうでございますが、支出のほうは決算額、また、こちらでも合計欄をごらんいただきたいのですが、決算額の合計欄をごらんください。5,493万8,000円ということでございまして、計画額、右に記載してございますが、5,396万2,000円ということで、計画比にしまして、これは若干オーバーしてございますが101.8%ということでございます。

③の収支実績のほうをごらんいただきたいのですが、収支実績のほうは、決算額で140万6,000円のマイナスとなっております。この赤字の原因でございますが、こちらのほうは、昨年度、電気料金の大幅な値上げがございまして、そのために水道光熱費の支出が増加したというところが大きな原因でございます。

続きまして、ちょっと駆け足になってしまうのですが、(4)番の指定管理者が行った処分の件数というところをごらんいただきたいと思えます。処分となっておりますけれども、処分というのは、この施設の許可をするという意味でございますので、もう皆様ご存じかと思うんですけれども、その許可件数が5,634件あったということでございます。

続きまして、下の段に移らせていただきまして、(5)番の市への不服申立てと、(6)番の情報公開の状況でございますが、こちらに関しましては、情報公開のほうは文書開示の申し出ということでございますけれども、実績のほうは、昨年がございました。

ここまでよろしいでしょうか。

続きまして、4ページのほうに移らせていただきます。

3の利用者ニーズ・満足度等の把握ということでございますが、当施設では、諸室の利用者を対象に年2回アンケートのほうを、昨年度実施いたしました。その結果、②番の調査の結果欄をごらんいただきたいんですが、イの受付の部分と、あと、エの清掃状況、これは主に施設の部分を見るということになるのかなと思うんですが、そちらに関しましては、「満足」の度合いが、おおむね50%以上ということで、よい評価のほうをいただいております。

そしてオの予約方法でございます。予約方法というのは、これは我々のほうのシステムのほうの問題もあるんですけれども、予約方法についてもちょっとご満足いただけないような状況があるわけなんですけれども、これにつきましては、今年11月からインターネットの予約を導入する予定でございまして、それに伴いまして、改善のほうを図ってまいりたいと考えております。

次に、駆け足で申しわけございません。次の枠のほうに進んでいただいて、4番の指定管理者による自己評価でございます。自己評価に関しては、アからカまで、それぞれ指定管理者のほうが自己評価のほうを記載してございますが、総じて申し上げますと、稼働率、諸室の利用者とも、目標値の9割に達していること、自主事業も5,500人を超える参加者があるということで、おおむね計画どおり実施していると考えておるということでございました。その他の施設の維持管理などにおいても適切に実施しており、利用者からは、

先ほどのアンケート結果ではないんですけれども、受付だとか清掃状況だとか、そういったところでは5割を超える方々がご満足ということで言っているから、高い満足をいただいているものと一応、自己評価では考えておるということでございました。

次に、市の評価でございますが、市の評価は、3段階評価の「A」とさせていただきました。理由としましては、稼働率、利用料金収入とも、目標値の9割以上の成果を上げているという点。それと、自主事業においても前年度を大きく上回る47事業を積極的に実施し、利用促進に努力していること。それとまた、施設の維持管理も小破の修繕とかあったんですけれども、そういったものも適切に対応しておりました。そこら辺を総合的に評価いたしまして、おおむね計画どおり、良好な管理運営が行われているというふうに判断させていただきました。

ただ、一点、事務費などが、天候、外的な要因だとかそういったものもあったんですけれども、一部の予算項目については、計画額との乖離が生じていること、当初、企画提案の際に第三者評価制度を導入するということがあったんですが、まだそこら辺が導入されていないという点がありますので、この2点については、今後改善していただきたいということで、指摘とまでは申しませんが、私どものほうから改善を要望させていただいております。

次に、5ページのほうをお願いしたいと思います。

ここから次ページの6ページにかけてですが、履行状況の確認ということで、モニタリングや、あと、仕様の中にある項目を確認事項として確認をさせていただきました。6ページの最後のほうをちょっとごらんいただきたいんですが、6ページの最後のほうに合計148、平均2.03と書いてございます。全部で確認事項が73項目あるんですけれども、そのうちこちらで評価の「3」をつけさせていただいたものが3項目。「3」というのは、仕様提案を上回る実績成果があったということでございます。そして「1」をつけたものが1項目。「1」というのは、仕様提案部分の管理運営が適切に行われていないというところでございますが、残りは、「2」となっております。「2」は仕様どおりということでございます。

評価の合計は、今見ていただいたように148ということで、これを全部、確認事項数で割りました数字といたしましては2.03という数字。2.03というのは、おおむね仕様どおりかなというところで、これに基づきまして、先ほど申し上げましたように「A」評価という形でつけさせていただいております。

ちょっとお時間ないんですが、その中で「3」、もしくは「1」をつけたものに対しては、その理由を簡潔にご説明させていただきます。

まず評価「1」の項目でございますが、5ページのモニタリングの考え、上から2段目の確認事項のところでございますが、モニタリングの考えのところの下から2番目の項目でございます。第三者評価の実施ということで、これは先ほど申し上げたとおり、提案されているけど、いまだに実施されていないということで未実施ということなので「1」という形になっております。これにつきましては、26年度に実施を予定しているということでございます。

続きまして、評価「3」をつけた項目でございますが、6ページのほうをお願いしたいと思います。6ページの上から2番目の大きな囲み、管理運営の執行体制ということでご

ざいます。こちらのほうに各項目があるんですが、下から3番目に職員への研修というところがあるかと思うんですが、こちらのほうですね、職員の研修につきましては、総じてすごくよくやっただいただいていると思います。接遇研修などは当然のことなんですが、そういった窓口で必要なスキルの習得に加えまして、人権の研修だとか、個人情報保護だとか、図書室の運営に関しての研修など、特色あるカリキュラムを積極的に導入しているということで、評価させていただきました。

次にもう一つ、自主事業の効果的な実施というところで、下の段ですが、その中の上から2番目でございます。高齢者・障害者・乳幼児連れが参加しやすい事業というところで、こちらに対しましては、高齢者の利用が多いコミュニティセンターにおきまして、読み聞かせだとか、おもちゃ病院だとか、あと、お父さんと子供に好評を博した事業だとか、子育て世代を主にターゲットに入れて、バランスよく事業を配置しているという点を評価させていただきました。

そして、同じく自主事業の中の1項目でございますが、一番下ですね、実施状況につきまして、先ほど来申し上げているんですけども、47事業を実施しているということで、この47事業につきましては、昨年度が32事業ということなので15事業も多い事業を実施しておりまして、計画よりも7事業も上回っているということで、非常に積極的に行っているということでございましたので、そういう点も評価させていただきました。

評価シートに関する説明は、以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。ただいまのご説明に関して、何かご質問等ございますでしょうか。

ちょっと状況を確認しておきます、ここは意見を述べる場でもありますよね。

○事務局 はい。最後に、またちょっとまとめて、意見はもう一度復習という意味では確認はさせていただきますけれども。

○部会長 ここで意見を述べないと、そこで意見をまとめることができないと思いますので。

○事務局 そうですね。

○部会長 では、まずご質問等がありましたら。

委員、どうぞ。

○委員 3ページのところで、前の資料から修正されて利用状況のところが出てきてますが、これの諸室と全体というのを見ると、ちょうど諸室というのはお金があつて来てもらっている人だけ、その人も半分しかいない形になっているんですね。そうすると残りの半分の方は、そうじゃない利用の人がいるということで、えらい細かい数字があるんですけど、把握されているんですかね。

○事務局 数字自体は、把握しております。それで、利用者数に関しましては、例えば先ほどご覧いただいた静養室は入口カウンターに受付簿を置いて、利用目的だとかを記入いただいていると報告を受けています。あと、図書室は、スタッフがカウントをとっているという報告を受けています。諸室は申請書を出していただいていますので、正確に把握するんですけども、あそこら辺は自由に出入りができる部分もございますので、数字としては概算の数字という意味合いのほうが非常に強くなってまいります。

そういったところで、特に利用料金だとか、稼働率とかに関わってくるのが諸室でございますので、目標値を設定している数字を標記すべく、2段書きにさせていただいたということでございます。

○委員 そのことは、諸室で、有料で来ている人以外に、本当に半分、その倍ぐらいの人はそうじゃない形で利用されているということを表わしていることになると思ったんだけど。それは大体想定内の話ですか。

○事務局 諸室の、要は、半数がフリーで利用しているということですか。

○委員 うん。

○事務局 それ自体は想定内というふうに。

○部会長 ちょっと関連して、私からよろしいですか。

諸室でない利用というものが、約6万ぐらいあるということですからけれども、そうすると、これ23年度が諸室でない利用が3万ぐらいですから倍増しているんですね、これを見ると。

ですから、そのような倍増の原因というのはどういうことなんでしょうか。どういうふうに市は分析されているんでしょうか。あるいは、指定管理者のほうがどのように分析しているかなんですけれど。

○事務局 一つは、夏休みですね。ここにも書いてあるんですけども、特別自習教室という形で、子供たちが勉強にかなりの数訪れているということもあります。それから、お昼にラジオ体操もやっていますので、それに集まっただけの方もたくさんいらっしゃるということ。それから、囲碁・将棋について、結構遠くからいらしていただいて、それを楽しみにいらしている方もかなりの数いらっしゃるということで、そういった方々が増えているということも一つの要因となっているようです。

○部会長 それは指定管理者のご尽力のたまものということですか。

○事務局 そうですね。使いやすくご案内してありますので、特に自習教室も出入りしやすいようにして、またボランティアで勉強を教えていただける方なども呼んでいただいているようなので、その工夫によって人が集まって来てるんだなという感じがあります。

○部会長 そうだとすれば、この4-1の5ページ、(3)の施設の効用発揮、そういうところで、特に市が評価されてませんよね。どうなんでしょう、これ。利用者倍増といったら、ものすごい評価に値する話だと思うんですけども。何か反映されてないのは。それは厳しい目で見ていいのか。

○事務局 そこに関しては、自主事業を中心にしているためで、それ以外を評価してないということではないんです。ただ、利用者数の増という部分では、その部分を見るべきだと思いますし、我々も、その部分での評価はいたしております。

○部会長 はい、わかりました。もうちょっとね、いろんなファクターのところで評価してあげてもよさそうな結果ですよ。ありがとうございます。

委員、どうぞ。

○委員 感想なんですけれども。23年度は結構、節電のためにお休みになっていたことがありますよね。夜間は早く終わっていた。

○事務局 はい。

○委員 そういうことも関連してるのかなと思ったんですけど。ありますか。

○事務局　それも一部あると思います。確かに、今おっしゃられたように、1か月程度、23年度は震災の関係で休館になってますので、利用できないときがございましたので、その部分は、23年度の数字自体が、若干ちょっと落ち込んで出ているというところがございます。

○部会長　ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員　3ページのところの(3)の収支のところ、ちょっとやっぱり気になるのが自主事業をすごい進めていいなと思っている反面、計画に対して収入がものすごく少ない。半分に至っていない。これ、もしこういう自主事業、PRかねて、最初無料でやりながらもっと広げて行ってやっていくんだよとか、何か意図があつてこうであればいいんだけど、そうじゃないんだったら、ちょっと半分以下というのは問題じゃないのかな。その辺についてのコメントがないんだけど、もうちょっと何かないんですかね。これはもう意図的に、少なくともいいから、今は広げるためにやっているのかな。そうじゃなくて、本当はやろうと思ったんだけど、計画どおりできなかったんですかねという、その辺の話がないと、どうも……。

○事務局　これはですね、計画段階では、参加費を徴収しようということ考えていたそうです。ただ、実際に自主事業の実施段階で、アクティオにしてみれば、まだ受けてから2年目ということであって、ある程度料金を取って、それを実施するというよりは、低廉もしくは無料という形で自主事業を提供することで、特に幅広い世代、子育てですね、先ほども申し上げたように、高齢者の利用が多い施設ですから、違う世代も取り込んでいきたいという思いが非常に働いて、そのPR効果のほうを優先したということで説明を受けました。

ただ、そうはいっても、委員さんおっしゃるように、やはり計画どおり、計画を立てたなら、そこら辺はその時点でも当然見込めた部分でございまして、そこも含めて、私どものほうでも改善を要すべき事項というところで、収支決算において一部計画額と乖離する項目が見られたというところで、そこら辺は自主事業を評価しながらも、やっぱりある程度計画どおりにちゃんとやっってくださいというところでお話をさせていただいております。

○委員　私は、そういう計画立てても、やっぱりここでは人をもっと増やすことを重点に置こうよというのは当然あってもいいし、それならそれで、そういう形でやったんだよと言えば、非常に意図がはっきりしてて、それをやったんだったら、むしろ評価に値するような話でね。それを言ってくれないと、この数字だけ見たら、悪い評価をせざるを得ないような話になってくる。そうじゃないんですよ。実は、もうちょっと増やそうと思って、そういう意図のもとにやったんですよと言ったら、むしろプラス評価してもいいような、そういう内容だと思うんです。だから、その辺の説明なりなんなりが、どこかに出てこないとうまくないんじゃないの。

○部会長　経営者としては、その部分を肯定的に評価するというご意見になりますでしょうか。

○委員　私は、実際に、結構いろんなところに人数増えているというのは非常にいいことだし、むしろそういう意図でやったんだったら、非常に肯定的に評価していいんじゃないかと思うんです。

○部会長　　そういうご意見があります。

委員、どうぞ。

○委員　　評価に関連してなんですけれども、先ほど部会長や委員からご意見があった、きちんと評価すべきところも現れてないという部分もあると思うんですけれども。

○事務局　申しわけございません。ちょっと聞き取れませんでした。

○委員　　プラスで評価するものが現れてないという部分もあると思うんですけれども、逆に、4ページのところの下の、5番の市による評価というところがあるんですが、ここでは所見の(1)で、稼働率は目標43に対して41.9とか、利用料金収入、目標に対してちょっと下回っていたんですね。

ただ、いずれも目標値の90%以上の成果を上げておりというふうになっていて、逆に、計画というのが、恐らく目標ということだと思ってしまうんですけれども。目標を達成するということが重要であって、少しでも下回っていると、それは目標を達成していないということになるわけですね。

こういうところを評価のめり張りというんでしょうか、ここは目標に達成しなかったね。だけれども、先ほど委員がおっしゃったようなこととか、部会長がおっしゃったようなことでプラスの評価があるので、相対的に見てこうというふうにしたほうが、よりめり張りも出ますし、またそこできちんと計画に対してどうということの評価するということになれば、もともとの計画の値も、きちんと最初から達成しようということを出してくださるのかなと思うんです。その辺のめり張りがあったほうがよろしいかなと思います。

○事務局　そこら辺については、私どもの評価をアクティオに伝える際の参考にさせていただきたいと思います。私どもは、確かに100%達成できなかったから、それはだめかという、そういうことではなくて、やはり目標9割方達成できていれば、それはそれなりに、少なくとも、おおむね規定どおりに実施しているという評価をしてよろしいのではないかと、そういう観点から記載はさせていただいております。

ただ、委員さんおっしゃられたとおり、そういう誤解を招かないような表記というものも、今後心がけていきたいと考えております。

○部会長　ほかにご質問、ご意見ありませんか。

どうぞ、委員。

○委員　　5ページのところの、実際に評点が入っているところを見ますと、さっき研修のところは非常によくやっているというので、6ページのところがあって「3」点つけて、その結果として出て、例えば、ここの5ページの5の(2)のところのサービスの向上なんかでも、実際に、職員から挨拶をすとかいろいろよくやってくれてるので。そういう意味でいうと、この電話の応答とか、窓口のあれとか、清掃、身だしなみ、名札の着用とか含めて、こんなのは「3」で評価してもいいんじゃないのというように思うんですけど。何か随分この辺になると辛いなというふうな感じを受ける。

○事務局　これにつきましては、辛いということではないんですけれども、先ほど来申し上げてるんですけど、私どもも本当に非常によくやっていると、そのようには考えております。

なかなかこういうところは、非常に数値化するところが難しいところがございます。我々も今後は評価方法をもっと研究していかなければならないと思います。この形

になりまして、まだ2年目ということで、まだ試行錯誤しているというのも、正直申し上げて事実でございます。ただ、そういった、今、委員さんがおっしゃられたようなそういう数値化できない部分も、今後何とか評価に取り入れて、何とか判断できるような形には持っていきたいと思います。

ただ、それも含めて、仕様の中に書いてあるものも適切に実施していただいたという意味での「2」でございまして、総合である評価Aということでご理解いただければと思います。

○部会長 すみません。委員、確認なんですけれども。ご意見としては、この市の評価にかかわらず、このサービス向上の面については、やはり肯定的に評価すべきであると、そういうご意見ということでよろしいでしょうか。

○委員 はい。

○部会長 そういう意見出ましたので、よろしくお願ひします。

どうぞ。

○委員 一つ質問なんですけど、26年度から第三者評価を実施するという予定というふうに伺いましたが、どのような形で予定されているのか、教えていただけますか。

○事務局 これにつきましては、今、横浜市のほうで第三者評価制度というのを実施しておりまして、指定管理期間、5年間の中で1回という形で実施しているというふうに聞いておりまして、横浜市が実施している、横浜市が認定した民間の評価機関というのがあるそうなんですけど、そこら辺の評価機関を利用するような形で、この指定管理期間に1回実施したいということで考えておるといふふうに報告を受けております。

○委員 はい、わかりました。

○委員 そうすると、これ1じゃなくて、2でもいいというか、あるいは評価対象じゃないかもしれない。5年に一度だと。

○事務局 ある意味、もしかしたら、そうなのかもしれないですね。それについては。

○部会長 ただ、これ、ご自身で予定をしたという、計画したということですね。

○事務局 我々が選定する際の企画書、最初の事業提案書の中で、22年度に選定する際の事業提案書の中に、そもそも第三者評価制度を導入するよという形で、それも評価された上で選定されたわけでございます。そこら辺の導入が24年度はなかったということで、それを一応入れさせて、評価をちょっと辛く評価してしまいました。

○部会長 評価の着眼点としては、基本的に、事業計画に基づいて履行されているかどうかということですね。ですから、計画に盛り込んだ以上は、やはりここは1にせざるを得ないと。

○事務局 はい。せざるを得なかったということです。

○部会長 ちょっと私のほうから。収支に関しての質問なんですけれども、今回の収支実績で140万赤字が出ているということですよ。それに対して6ページの一番下、管理経費の減縮ということで項目があるんですけども、ここ2をつけているわけです。赤字が出ているということに関してどう評価されているのか、ちょっとお尋ねしたいのと。

選定の過程で、実は、このアクティオさんというのは、非常にコストが高いということで、異論が出ていた。そういう経緯があって、確か、選定の際に、そのコストの見直しについてということ意見を付記したような、そういう経緯があると思うんです。です

から、これは契約内容そのものじゃないかもしれませんが、コスト意識を持っていただきたいということは、従前から申し上げていることであって、それに対してこういう結果が出てしまっている、赤字の結果が出てしまっているわけですから、むしろもうちょっと厳しい目で評価すべきではないかなと。私の個人的な意見としては、次年度以降もコスト削減に努めていただきたいと、そういうふうに私は個人的に考えておるんですが、先ほど申し上げたように、市としてどう評価されているのか、ちょっと質問させてください。

○事務局　まず赤字の部分に関しましては、先ほどちょっと簡単に触れさせていただいたんですけど、光熱水費の部分で、特に電気代のところで、当初の見積もりが甘いということもあるかもしれないんですけど、電気代の部分については、特に200万ぐらい電気代値上げの関係で赤が生じています。

それとあと、急遽、職員が二人欠けて、現在は大丈夫なんですけど、それに関して職員の公募を緊急に行って、職員を募集しました。そこら辺の経費がかかったということで、その状況については、本来好ましいことではないんですが、致し方ないのかなというふうに評価はさせていただきました。

今後のコスト削減ということなんですけど、コストに関しましては、選定の際に一応向こうの出してきた計画額に基づきまして、それで市側としても、それを条件に債務負担行為を出しているということで。削減をしていただくというのは、次期の指定管理者の選定の際には参考になるわけですので、そこら辺は当然図っていただきたいというふうには考えておりますけれども。その部分を、あえてこの中でマイナスの評価として、本来折り込めばよかったんですけど、今回は入れてございません。

○部会長　参考までに申し上げますと、ほかの区のコミュニティセンターでは、例えば、電灯を全てLED化して、そこで実績として誇ってましたけど、電気代を15%削減したと。そういうような指定管理者もいるんですね。ですから、努力できる話であって。もちろん、LED化には相当コスト、またその部分でかかるわけですけども、そうやっていろいろ努力しているところもあるわけですから、そういう努力もしていただきたいし、そういうこともできるんだということを、指定管理者に知っていただきたいと思えますね。

○事務局　はい、わかりました。ただ、LED化に関しまして言いますと、この話とはちょっと別なんですけど、他のところとは、ちなみにどちらでしょうか。

○部会長　穴川ですね。

○事務局　穴川ですと、区役所に隣接して、もう一体的になっているものなんですけど、この建物、非常にご覧のとおり老朽化しておりまして、市のほうで、28年度からあちらのプラザのほうに移転するという計画がございまして、仮にLED化を図ったとしても、その投資額と非常に見合わないというところもございまして、委員のご指摘はごもっともなんですけど、その点を加味して今回の評価をお願いします。

○部会長　一応参考までに申し上げたわけで、例えとして。

○事務局　すみません。

○委員　LEDを、業者によっては自分で持ち込むところもあるんですよ。指定期間やって、持ってっちゃうと。当然あれはものすごく使いますからね。だから当然そういう。だから僕は業者がどういう対応を立てるのかなと思う。

というのは、きょうの新聞にも出ているように、東電は値上げする可能性があるわけじ

やないですか。だから、その対応について、当然赤字になっちゃうから、どうするのかなという部分は、僕はやっぱり先ほどの部会長の意見をきちっと聞いていたほうがいいのかももしれないですね。

○事務局　わかりました。今後、モニタリングだとか、そういった指導のときの参考にさせていただいて、そこら辺も、私たちのほうから指導のほうをさせていただきたいと思えます。どうもありがとうございます。

○部会長　委員、どうぞ。

○委員　人件費は、先ほど言ったように、ちょっと聞こうと思ったのですが、欠けた部分の補充で増えているんですね、ここはね。

○事務局　そうですね、はい。

○委員　それで事務費が増えているのは、光熱費とここの分。ほぼ、中身は把握されていると。

○事務局　市で把握しているところでございます。

○部会長　すみません。資料でいうと、4-3の24ページですよ。そこに内訳が示されていますけれども。

○委員　先ほど自主事業と言われてて、これ計画で見ても、最初から10万円赤字でしたよね。

○事務局　はい。

○委員　実は、意外と自主事業はもうかるんだなと、僕、感想なんです、実は。ただね、僕は、先ほど委員も言っていたように、いわゆる意図的に、やっぱり人を集めたいというのであれば、自主事業より市の事業ではないかと、いつも僕は思っているんですよ。

だから、これを区分けして、明らかに利益を得たい事業と、やっぱり市のために赤字でもいいよと。だから、その辺をどうやって管理しているのかなという気はするんです。いわゆる、これは収入取らなくてもやってくれという部分もあるのかなということで、その辺の、いわゆる計画性というのかな、何となくやっちゃったというんじゃないかと、やっぱり……。

○事務局　自主事業の計画では立ててはおりますけども、100%実施しているわけではないんですけど。

○委員　実は僕、暇なもんですから、いろんなシンポジウムにただで行くんですけど、スマートシティとか、プラチナとか。この前、プラチナ大賞というのをもらった富山市なんか見ると、結局、おじいさん、おばあさんが孫を連れてくると、ちんちん電車ただになる。実は、それに乗ると落としていくんですね。お年寄りには金持ってるから、お孫さんにいろいろとやると。ということは、ただでも、いっぱい稼げるという意味で、ここの部分をいろいろと人を集めれば、実は、いろいろと附帯したもので落ちるんだという。いわゆる活性化でも、やっぱりここはそういう意味でのブームというのか、とにかく、ここで採算合えばいいんじゃないのよという部分で、あんまり大変だけどという感じを僕してるんです。

なるべく人を集めるという部分で、美術館があるんですよ。あそこはご存じのように、ものすごく人を集めてるんですよ。今年、確か13万かな。前の年は16万、ちょっと減ってるんですけど。そうすると、やっぱりと附帯効果って、やっぱり地元のあれが大き

いんですよ。やっぱり駐車場のあれとか、レストランとか、喫茶店とか、中身、やっぱりああいう部分で、なるべく基本的にやっぱり人を動かしたほうがいいのかっていう意味では、こういうコミュニティセンターなんかも。それから、意図的に動かす事業をやっていただいて……。

○部会長 コミュニティ全体の……。

○事務局 確かにおっしゃるとおり、本当に、こういう集客施設というのは、単体だけでは大した経済効果は、お金は大して取ってるわけじゃないんで、経済効果的には薄いわけですけど。まさに委員さんのおっしゃるように、この周辺で食事をしたりですとか、ついでに買い物をしたりという、そういう附帯的な経済効果というのは本当に大きなものが、まさにあると思います。

それで、先ほどおっしゃったように、美術館の周りの商店街に、すごく、やはり大きな影響を与えているようです。コミュニティセンターの運営、そういう経済効果を、考えてまでの運営というのは、そこまで、実はしてないんです、市としては。

ただ、やはりおっしゃるように、経済効果というのは、やはりあるかも知れません。

アクティオさんはそこまで考えた上でやられているわけではないんですけど、そこら辺のところというのは、やはり今後、我々としても、この単体の施設だけでなく、やはりもっと大きな経済的な意味も含めて、こういう施設のあり方を考えなきゃいけないなど。ちょっと今お話聞いてて思った次第です。

○委員 僕も指定管理者って、とにかく費用を安くしろと。ただ最近の反省として、やっぱりよりサービスをというか、トータルでやっぱり考えていかなきゃいけない。スマートシティとかコミュニティシティ、プラチナというのは、ぼやっと聞いていると、やっぱり今後少子化で人口減っていくわけじゃないですか。そうすると千葉市がどれだけ魅力あるか、人の奪い合いだな、一面ね。

そうすると、ここがやっぱり住めば、子育てもいいし、いろんな部分もあるねというのが、ここがやっぱり重要になってくるなど。

○事務局 そうですね。

○委員 ただ、今までは、財政大変だからって言って、僕はかなりして、それなりの効果、僕はあったと思うけど。今後の方向性としては、アクティオですかね、僕、調べさせていただいたんだけど、今の社長は指定管理者できるときに委員もやったり、かなりこういうあれだから、こちらから積極的に提案してもらおうというのは、あれ結構全国展開してるからいろんなノウハウ持ってるはずですよ。だから節電一つにしても、実は、どういう計画ですかってやればやるし、人集めるにしてもね。だから、いろいろなノウハウを持っているから、こっちからプッシュしたほうがいいんじゃないと。

だから、考えてて、2とか何かあって、ある意味では、もうちょっとサービスを上げてくれよと。2でいい場合も、僕はあるんだろうけど、ここはちょっと頑張ってくださいというプッシュもあり得るかなと。評価としては、基本的には先ほど言ったように、もうちょっとプラスのところもあったりしていいんじゃないっていう気はするけど、遠慮してるのかな。しないでもないんですけどね。

○委員 すみません。一つ聞いていいですか。私は、全体的に、市の評価は結構厳しいなと思うぐらいで、もうちょっとよくともいいとは思ってたんですけど。一点だけ、どうも何

だというのは、この施設使うときに、やっぱりみんな、実際に使用している人から見ると、受付のやり方というのはなんだかんだといろいろあって、それは今度インターネットで受け付けを改善しようとしているんだけど。もう一つやっぱり大きな問題は駐車場なんですよ。今日来ててもわかるとおり、駐車場、本当に申しようがないんですね。

ここの責任じゃなくて、隣の勤労市民プラザから来ているのが置いてっちゃうのが、結構多いのも事実なんだけど。だけど、それにしても、もうちょっとちゃんと管理してくれないと。あれで管理してるって言えるのって、内心、実は、私は思ってた、それが逆に、ここで見ると、たしか2か何かになってて、同じ評価なんですよね。結構よくやってて、これ、2じゃ厳しいと思うような「2」が多い中で、この2でいいのっていうのは、この駐車場。あの程度やってて、2ももらえるんだって言うぐらいの意識でね。ここはやっぱりもうちょっと評価辛くして、少し改善させないといけないんじゃないですかと。

○事務局　　駐車場は、我々としては、構造的な問題の部分も、今、おっしゃられたようにプラザさんとの併用になっちゃうとか、そういったところもあるもので。

○事務局　　時間ごとにチェックしているのもありますし、あと、プラザ側から流れてくるものが多いので、プラザに停める人は、もう意識なしに、こっちにも停めてるような形もあるので、どこに停めましたかという紙を渡して、ここに停めている人には、実はここは違うんですよということを説明をしてもらってるんですね。まあ、なかなか改善しないんですけども。

あと、今考えていることは、ここを利用することで車を停めた方に、今日は何時から何時までなので何時に帰るという形で、ダッシュボードに紙を置いてもらうようなことも今、考えているところです。

○委員　　いろいろなシステム、私が考えてもやりよいシステム、幾つもあってね。今思うと、直せるねという感じを持っているんですね。ご存じかどうかあれだけど、何年前に、高齢者の活用のセンターありますよね。あそこの人が二人ぐらいそこについて、入り口のところでチェックをして、もう勤労市民プラザの人、こちらのどこで何時からですか全部聞いてやって、やり方をやったら、この駐車場、本当に空いてんですよ。

ということは、そんなことを含めて1週間でも続けてやればどんどん改善するはずなのに、そういう改善努力ちっともしてないんじゃないの。だから、これが2というのは幾らなんでも甘いんじゃないのっていうのを、ここに関しては思っているわけ。

○部会長　　施設保守管理の考え方という部分でしょうかね。

○委員　　はい。

○部会長　　あと、先ほどの委員のご意見もあわせると、指定管理者のポテンシャルに照らして、これもちょっと積極的な施策を期待すると、そういうご意見でございましてでしょうか。

○委員　　やっぱり3段階の限界を感じますね。

○委員　　そうそう。よくA+とかね、ああいうのがいいんだよね。B-とか。

○部会長　　わかりました。ほかにご意見、あるいはご質問ありますでしょうか。

○委員　　ちょっといいですか。僕、つい建物状況を見て、今日見せていただいて、内部きれいなんだけどね。実は、これは指定管理者の評価じゃないんだけど、外部、ちょっと汚いんだよね。これ古い備品で、コンクリートはね、実は、黒くなっているんですよ。よ

く僕が電車に乗ったりしていると、食糧というか、作っているところが汚いというのは、ちょっとおかしいよなという気があって。今ここなんかも他のあれよりね、新しいんじゃない。ここ古いんで、ああいうもんというのは、どうっていうことはないんだけど、やっぱり大切にしなければなんない。イメージとしてね。電車通るじゃない。電車側から見ると、これ意外と黒いのは、なんとなくあんまり印象よくないじゃん。金かからないから、もうちょっと何とかならんかなという気はしてるんですよ。内部を見ると非常に、よくきれいにされてるけど。

○委員 さっきおっしゃった28年に移転されるという……。

○委員 ああ、そうか。

○事務局 移転する予定があるので。

○委員 市役所の前のあれを建てかえるとか何か。

○事務局 あれは民間の施設なんです。

○事務局 実は、あれ伊藤忠のビルで、あの中に駐車場が入っているような形になっているんですけど。ちょっと特殊なんですけど。コミュニティセンターというのは、区分所有で千葉市と伊藤忠が分けて持っているような形で、メインでは伊藤忠の建物なんです。

○委員 そういう意味では、こことかあそこは、他のあれと比べて、ちょっと古いんだよね。

○事務局 ここは昭和50年台の、一番最初のころのコミュニティセンターなんです。実は耐震の関係とかいろいろあって、建て替えるとかいろいろな話もあったんですけど、結局、今のところの結論は、この隣にある勤労市民プラザの中に、この建物が、コミュニティセンターが入ってしまうというような形で今検討しています。それが28年度ということ。

○委員 ここはなくしてしまうと。

○事務局 これは、それで更地にしてしまうという予定で今動いていると。

○委員 勤労市民プラザにこれだけのものが入れるスペースがあるんですか。

○事務局 この市民プラザ自体を廃止してしまうという今、考えで。

○委員 コミュニティセンターになるということ。

○事務局 向こうがコミュニティセンターになるというような考え方で、今。

○部会長 すみません。確認ですけど、外部の清掃は指定管理者の責任ではないんですか。

○事務局 建物外部の清掃ですか。

○部会長 ええ。外観。

○事務局 外観の清掃は指定管理者になると思われま。

○部会長 ですよ。ですから、改善の余地はある話ですよ。

○委員 見ばえよくするということ。

○事務局 それが大規模な、いわゆる本当に足場を組んでまでやるようなものと、それはちょっと指定管理者の範疇を超えてしまう。

○部会長 いろいろ工夫の余地もあろうかと思うし……。

○事務局 ただ、外壁の塗りかえだとか、そういったところになってくると、当然、今区長おっしゃったように、それは指定管理者の範疇ではとてもできない。

○委員 掃除じゃ無理だろうなという感じがするんです。

○部長 高圧のね、なんか吹付だけでも結構きれいになりますよね。壁とかは。

時間も押してますけれども、何かご意見があれば。

○委員 僕、他のところでもアンケートを見ていると、大体満足でいくんですが、ぜひ僕らが調べていただきたいというのは、不満とか、そこに改善の余地があるんじゃないかと、恐らく利用者は定期的に利用しているから、ある程度、不満がありながら利用しているんじゃないかと。実は僕なんかも、実は利用者側でいて、実はこういうものを自分でセットするんですよね。持ち運ぶと、だんだん年取ってくると危なくなってきたり、若い時は、ほいっと持ってくんだけど。

それで文句言ったら、ちゃんと和室で仕切るところありますよね。それぞれの和室にこれを置くようにしてくれるとか、いろんな改善をしてくれたところがあるんですよ。だから、そういうちょっとしたところで、アンケート調査はオーケーなんだけど、改善の余地というのはこういうところにあるのでは。

これはあえて言えば、最近ビックデータとか、僕も研修でかなりいろんなことか出てくるんで、ある化粧品で、非常に問題になってるでしょ。50年代初め、コンピューターが非常に性能が悪いときに、使用者のアンケートを全部コンピューターに入れて、開発方針に使ってたんですよ。今ビッグウェイって騒いでいるけども、今から30年以上前に、非常によく利用した会社なんです。

我々いろんなところでやってみると、ちょっとしたこういう兆候というか意見が、次の改善につながる。意外と、こんなこというと失礼だけど、官は、こういう数値でやっちゃう。1%のほうがいいんじゃないかと、実は、1%の中に将来のいろんなものがあるよと僕なんか感じるんで。

実は今回も、ある地方省庁で年金の問題で、僕なんかは非常にある種のことを言っている人が、あいつは不満屋という位置づけのような、僕は、気がするんです。実はそれを積極的に対応したらこうはならなかったろうという、僕は、そういう感想があるので。という部分で対応の仕方を、やっぱりそういう、ビッグデータという僕は最終的に、はっきり言ってセンスの問題だと思う。過去だって、みんないろんな問題があればそれを取り上げるかどうかの話で、今、僕が役所に一番望むのは、そういうちょっとした兆候をうまく取り上げられるようなものというんですか、数値で行くというのは、僕、物すごく大事で、その点では、僕は、これはオーケーなんですけど。そういう部分の体制をもうちょっと考えていただきたい。

千葉市は、PDCAは採用してるのですか。

○事務局 採用しているというか、我々もその研修受けて、仕事ではそういうことをやれよということでは、もちろんやっているわけなんですけど。具体的に、じゃあ、それがどこでどういう形でPDCAサイクルがうまくできているかというところまでの検証はできていない。

○委員 僕も、もう10年ぐらいそういう部分で、評価でかかわってて、評価表とかにして細かく見たことがないんです、実は。というのは、役所、大変だから。今回きちんと見たら、やっぱりCの部分が弱いんですよ。Cの部分をきちんと見れば、アクションにつながるようなCってあるじゃない。これ、民間なら当然だと、僕思うんですよね。アクシ

ョンにつながんないようなCやったって、何の意味もない。そういう意識がまだないなど。

今、僕は、日本というのは大改善とか、二、三年前から、僕なんか不満があるのは、ここもそうなんだけど、Cとしての、僕は委員会だと思うんだけど。形入れたけど、実際やってないじゃんという気、僕はあるんですよ。ただ、負担が大きいつて、僕わかってて、やっぱり市の側も、そういう改善をするという点では、僕、千葉市は、物すごくよくやられてるなという気がしててね。

ただやっぱり、これさっき言った魅力ある千葉市という、かなり魅力あるなと僕は思うんだけど、まだまだ実質ね。そういう意味では、この委員会を負担と感ずるんじゃないかね、プラスとして考えてという部分があれば、そのほうが仕事楽しいし、恐らく魅力あるというかね。

だから、僕よく言うんだけど、千葉市行くと、エレベーターに乗ると、宣伝がいっぱい張ってあるって言うんだよね。ちょっと品が悪いけど、あれも確かにいいかなというね。
○部会長 委員、よろしいですか。これ、指定管理者に対する評価ということですよ。ご意見としては、指定管理者に対してこのアンケートの結果を積極的に活用していただきたい。そういう趣旨でよろしいでしょうか。

○委員 そういうこと。

○部会長 ありがとうございます。

ほかにご意見、よろしいでしょうかね。

(なし)

○部会長 じゃあ、次、進みたいと思いますが、ここで指定管理者の財務状況等に関しまして、財務諸表をもとにご意見いただきたいと思います。その前に、委員のほうからご意見を伺いたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員 財務諸表の上での意見ということで、4-4に3年間ですか、つけていただいて、これを見た感じでは、内容を見てもだんだん利益も増えてて、ここで要求されている、いわゆる倒産リスクっていうんですか、こういうようなものはないと判断してます。

ちょっと質問させていただいたのが1点。退職給与引当金がなかったというか、これは説明を受けて、制度をやめたんで、全部従業員に払っちゃったということですか。

○事務局 そうです。最初に、適格退職年金という形でやっておったんですけども、そちらのほうで24年3月に廃止されまして、現在は養老保険で対応されてるそうなんです。廃止の際に、そちらのほうの、要は積み立てといいますか、保険の返戻金につきましては、社員のほうに既に支給をして、だからそこで一旦清算にして、24年度から積み立てというところで、ちょっと引当額が少ない状況になっております。そこについては社員のもとに、今まで積み立てた分を返しているということで、説明を受けております。

○委員 それと、やはりすごく気にしてるのが、途中で放り投げちゃう、美術館がいっぱいあって。それで今回赤字と言われてるんですが、実は非常に矛盾しているのは、損益計算上にどんどん利益増えているんですよ。それほどじゃないけども。

実はこういう部分は、僕、ほぼ担当してて、悩ましいのは、先ほど言ったように、この指定管理者の受けた後の赤字ですよ。だけど、あの中に、実は利益が僕は大きいにあると思ってるんですよ。だから、こっちの全体では利益が上がっているということ。なかなかその辺が見えなくて、非常に悩ましいんですよ。

だから、今いった財務諸表上問題はないんだけども、報告のこの指定管理のどれだけ精度があるかという部分については、非常に難しいな。だから、その辺は僕は何とも言えないなと。疑問を持ちながらも。ただやっぱり、かなり利益があるし、大丈夫。

ただ、一点あえて言わせていただきますと、ここね、投資有価証券が6億もあるんですよ。皆さんご存じのように、有価証券って非常に評価難しくて、恐らくここは、時価のあるものじゃないものを持っているんじゃないかな。原価評価されていると。非常にこれは難しくて、企業によっては赤字という部分で、この辺がどうか、僕ら見えないところでね。個別も何もないから、企業の面もわからないと。ただ、この辺を考慮しても、倒産リスクはないだろうと見ています。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 ただ、この辺がちょっとウォッチしとかなないと、管理としては、これから余り変なところに投資してませんよねというのは、僕、担当課がちょっと質問してみる以外で、我々としてはそこまで立ち入れられないのかなという感じ。

結論としては、ここに書いてあるとおりになんです。ということで、結論をつけたいと思います。

○部会長 ありがとうございます。今のご意見に関して何かご質問等ございますでしょうか。

委員、どうぞ。

○委員 このアクティオを選ぶ選定のときに、気にしたとおり、結構利益を出してますよ。しかも、その利益、自分とこに持ってっちゃうから、千葉市の利益、そっちに持ってっちゃうのという、そういうところで気にはしてたわけですね。

この財務諸表を見る限り、やっぱりそういう傾向で、さらにそれがもっと増えてるような感じを持つから、これでいいのかなというような一方では思うけど。それなりのこの中の状況を見ると、サービスとかそういう面でも向上してるから、それを見ると、そう文句も言えないのかなというところの感じを持ってるんですね。

だけど、くどいようだけど、さっき言ったように駐車場の管理だとか、ああいうところにもっとお金使って、あれを見る限りもっとやれるんじゃないのってというのを感じてますので、そこだけは一つくどいようですけども。

○委員 僕の方針、すごく悩ましいのは、公的機関が受ける場合というのは利益出さなくていいんですね。ここは利益得なくちゃいけないんです。その上でやるから非常に大変だなという気は…。だけど、いろんな節約とかなんとかのノウハウ持ってるから、そういう意味では、先ほどちょっと言ったように、積極的にそれを絞り出させるようにしないと、せっかくコスト高いところへね、という部分があるかな。

○部会長 ちょっと私のほうから質問させていただきたいんですけど。資料の4-3の26ページですね。先ほど委員おっしゃられたことで、会社として、利益を上げているはずだということですけども、この資料の4-3の24ページの右の部分、管理費の一般管理費で、弊社規定による本社事務経費などということ835万9,000円を計上してますけど、これ一般的に理解して、これが会社の利益であるということよろしいんでしょうかね。

○委員 本社振替の部分、僕も、ほかでも、恐らく利益じゃないかなというね。当然、

ここをやるに本社の費用っていうのはあり得るじゃないですか。だから、この辺がある種の利益じゃないかと。そういう意味では800万って多いな。

○部会長　ここで利益を上げているということですか。それに対して従前、選定の際に、いろいろご意見が出てたということですよ。

○委員　そうです。

○部会長　もう一点ちょっと確認したいんですけど。ちょっとページ数わかりにくいです。4-4の直近の計算書類、第27期の。この貸借対照表を見たいと思いますが、流動資産と流動負債の比較なんですけれども、結構ぎりぎりのような水準だと思うんですけれども。これは特に問題ないと理解してよろしいのでしょうか。その流動資産の合計が9億1,000万で、しかも売掛金のようなリスクのあるものが5億というふうになってますよね。それに対して流動負債のほうは、これは全て払わなきゃいけない負債でしょうけれども、ちょっと特に現金預金の部分が少ないんじゃないかなという、ちょっと素人的な印象なんですけれども。

○委員　流動比率はマイナスになっちゃうんですね。100%切っちゃうんです。それで110とか20で。

○部会長　ちょっとこれはリスクとして、やっぱり見なきゃいけない。倒産のリスクが、直ちにあるわけではないんですけども、その点は注視する必要があると。

○委員　受託事業損失引当金立ててきてるじゃないですか。これは通常の会計ではあるかなという気が、こんなものねというか、という気はしてたんですけど。700万ぐらいですかね。確かに受託なくなっちゃうと、ほかにも当然大変なこともあるじゃないですか、だから、この辺でちょうど。これ取れば100%ぐらいになって。

○部会長　厳しい面もあるということでしょうかね。

○委員　そうですね。

○部会長　だから、手放しで大丈夫というわけではないということでしょうか。

○委員　そういう見方のほうが正しいんですかね。僕はあちこちいろんな変な項目入れてね、結構採算、もうかり過ぎてから一生懸命落としているのかなと思ったんですけど。何かそういう印象を持ちましたけどね、これ見たら。

○部会長　利益は出しているようですよね、ですから。

○委員　うん。だから、それをいかに抑えるかで、さっき言われたような、損失の引当金なんか変なものを入れてるなというような、そんなところで一生懸命落としてんのかなと思ったんですけど。

○委員　その前の年も計上してますよね、損失。

○委員　ちょっとね、正直言って不安なところもあるんですよ。だから。

○委員　どっちに見えるんでしょうか。

○委員　監査報告書、普通つけるんですけど、いわゆる監事のね。外部の監査を受けてないようなんですけども、監事の監査報告書、コピー入ってる場合もあるんですけど。

○部会長　委員、どうぞ。

○委員　数字の件なんですけど、先ほどお話あった一般管理費のところ、計画のときよりも決算のところが増えていると思うんですよ。4-2の一番最後から2枚目でしょうか。

○部会長　ページ数がないんですけど、一番最後から2枚目の、それが計画段階のもの。

○委員 はい。計画段階で24年度予算書ということで、8029000というふうになっていますね。先ほどの4-3の24ページですね、決算の内訳では8359000というふうになっていて、全体の収支マイナスなんだけれども、一般管理費が増えている。やっぱりここをどういうふうに出しているのか、あるいはもしここに利益が入っているのであれば、どんなふうな内訳になっているのかというのが気になるなというふうに感じます。

○委員 私はその辺含めて、本社のほうにお金を持ってっちゃうのに、そこで費用かかったよというふうに計上しないと利益が出過ぎちゃうから落としてんじゃないかなと見たんですけど。それは甘過ぎる見方ですかね。どっちだかわかんないけど。

○委員 事業費全体に対してこのぐらい収益を得ようとか、このぐらいの本社の一般管理費という、人件費もかかってというような計算根拠があれば、全体が減れば、ここも減るかなと思うんですけど。ああ、ふえるんだなという、感想です。

○委員 増やしたんじゃないのって思ったんです。

○委員 この辺ね、きちっともうちょっと規定、総務省あたりでつくってやっていただくとわかりやすいですけど。正直言って、どこで利益を得てるっていうのは、見るとわかりますけどね。

○委員 利益を出してもいいと思うんですが。

○委員 いや、これでもっと利益がぼんぼん上がって行って、あんまり出たら、それはみんな目つけて、もっと還元しろって言うでしょう。

○委員 これ、ここはどうでしょうか。計画よりは費用節減した場合は折半とかね。1か所あったような気がする。

○事務局 この場合、利用料金収入が一定の見込額を超えた場合には、利益還元の対象ですが、企業がコスト削減を図って収益を上げた部分は、利益還元の対象にはなっていません。企業努力でコスト削減を図った部分を全部我々が持ってっちゃうというのもおかしいですが、一定の限度を超えた場合は、そこを返還させる。他の各自治体では、そういった制度を協定書に盛り込んでいるところもあるのですが、千葉市はまだそこまでやっていない。次期以降の指定管理上の課題なのかなとは思いますが。

○委員 他の仕事をしているときは、実は、コストの5%やっていいと言っている割には誤魔化してるケースがある。だけど、ここは利益をはっきり出させてないじゃないですか。さっき言った本社振りかえとかね。だから、非常に僕らも悩ましいです、正直。

だから、コストをきちっと計算して、これに対して5%とか10%でいいよと言っちゃったほうが、我々見やすいんですよ。

○事務局 まさにおっしゃるとおりの部分はありますし、公募の段階で、それを募集要項の中に何%までは見るよというのも入れているところもあるんですけど、先ほど来申し上げているように、千葉市全体の中でそういった要綱のつくりはちょっとしてないところ……。

○部会長 もう制度論にわたる話ですよ。ですから、もうこれくらいにしたいと思います。よろしいでしょうか。

ほかに、撤退等のリスクに関する財務状況にご意見はございませんでしょうか。

(なし)

○部会長 特になければ、これまでの皆さんのご意見をこの場で一旦整理したいと思えます。

事務局のほう、よろしく願います。よろしいですか。集約できそうでしょうか。

○委員 もう一つだけ言わせていただきたい……、ごめんなさい。

○部会長 ごめんなさい。委員から意見があります。

○委員 ちょっと戻ってしまうんですが、事業のことで、アクティオさんは、先ほど委員がおっしゃったように、全国でいろいろ事業なさっていて、すごくノウハウも持ってらっしゃる。それからプレゼンなんかもすばらしかったと思うんですね。いろいろアイデアも本社のほうでお持ちだと思うので、期待を込めて、子供向けの事業なんかをもっと積極的にやられるといいのかなというふうに思いまして。その理由は、恐らくこの周辺、子供増えてるんですね。人口構成を見ますと、中央区全体の子供の割合が大体12%くらいなんですけれども、特に蘇我二丁目、三丁目、四丁目とか、南町一丁目とかは、もう2割ぐらい、子供の割合が高くなってるんです。

なので、ぜひ、白熱自習教室もそうですけれども、ああいった子供が夏休みに結構行き場がなくて困ってしまっていると思うので、ああいうもので子供を集めて、安全に学習したり、遊んだりする場というのをたくさんつくると、そのようなお子さんをお持ちの保護者の方とはとてもよろしいんじゃないかなと思っているので、そういう人口構成なんかも含めて、高齢者の方とはもともと利用者が多いんですけど、子供をターゲットにしても一定数利用してもらえるかなと思うので、ぜひ期待を込めてお願いしたいと思います。

○部会長 積極的施策に期待するというご意見もありましたけど。特に、子供の分野、地域性に照らして、子供の分野で頑張っていただきたいと、そういうご意見でしょうか。じゃあ、そこも盛り込んでいただければと思います。時間どれぐらい必要でしょうか。

○事務局 今から10分ほどお時間をいただきますので、その間ちょっと休憩していただいて。

○部会長 じゃあ、12時10分に再開するということで。

あと、意見まとめてすぐです。集約の後、10分ぐらいですかね。

(休憩)

○事務局 長らくお待たせして、すみませんでした。

○部会長 じゃあ、事務局のほうでよろしく願います。

○事務局 委員の皆様からいろいろご意見いただきまして、ただ、この場の内容というのを、多々いろいろ、個別の部分ではいろいろあるかと思うんですけれども、まず管理運営に関しましては、おおむね事業計画書どおりの成果を上げており、良好な運営のほうをしていたと。部分的には、非常に、私どもの評価以上に評価できる点があるだろうと、そういうお話。特に市民サービスとか細かな部分については行き届いている部分もあったと。それが全体的なトーンであったかなと思うんですが、そのような形でよろしいでしょうか。

とは言いながらも、例えば電灯のLED化だとか、駐車場の管理だとか、管理運営上、改めていかなきゃいけない部分も多々あったでしょうと。そういったところは、今後しっかり頼みますよというようなお話だったかなと。

あと、自主事業について、執行状況自体は非常によくやっていると思う。ただ、子供向けの事業をさらに取り入れて、充実を図っていかれたらということ。

それとあと、アンケートだとか窓口に寄せられている意見というものを十分踏まえて、できるならばデータベース化するなどして、今後の事業運営に反映していただきたいと、そういうご意見。

そして、最後に財務状況に関しましては、部会長さんのほうから若干ご不安な部分のご指摘があったかなとは思いますが、指定管理者の財務状況については、財務諸書類等で確認する限り、流動資産だとか投資有価証券等の部門については、入れないでいいかと思うんですけど、確認し足りない部分はあるんですけど、直ちに倒産の危機となるとは考えにくく、リスクは低いものと判断されると。おおむねそういうようなご意見だったかと思うんですが、皆様、よろしいでしょうか。

○委員 部会長の言った、当座比率、流動比率ですかね、あの辺は、口頭で聞いたほうがいいと思うんですね。あんまりよくないというか、当然分析上は出てきちゃう話なので、ここでは書かなくもいいですけど。

○部会長 まあ附帯意見として市のほうに、その辺確認されたいということで。

○事務局 はい、わかりました。そこは附帯意見として、市に確認を要するという形で記載させていただきます。

なお、ここでの評価の部分、部会としての意見を最終的にこのシートの7ページのこちらの部分に掲載するわけですが、これに関しましては、部会長さんにご相談させていただいて進めさせていただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○部会長 はい、わかりました。委員の皆さん方、意見の要旨は、今、事務局のほうからご説明があったことで、よろしいでしょうかね。

(異議なし)

○部会長 ただちょっと私1点だけ、私の個人的な意見かもしれませんが申し上げたいのは、コスト削減に努めていただきたいということを、端的にいうことです。というのは、やはり赤字が出ていますし、相当コストが高いということがありましたので、そこはぼやかすんじゃなくて、端的に申し上げたほうがよさそうな気がするんですが、いかがでしょうか。

○委員 それはそれで結構です。ただ、さっき口頭で言われたことが、この上につくんですね。これぱっと見たら、もう批判的なものばかり出てたんですけど。全体として見たら、かなり高く評価できて、非常にいいよと。だけど、細かく言って気になるところは、改善するところという感じにしてくれないと、これちょっと見たら……。

○事務局 先ほども申し上げたんですけども、そこら辺を我々以上に評価をしていただいているという部分を加味した形で掲載させていただきたいと思っております。

○委員 それで結構です。

○部会長 確認のプロセスで、私のほうもその点注意していきたいと思っておりますので、あとは一任ということで、よろしく願いします。

それでは、以上で本日の議事は全て終了なんですか、今後の予定は、お話しはないんですか。

○事務局 この後、事務局から。

○部会長 ですから、資料5は、今後の予定については議題じゃないんですか、これ。

○事務局　そちらのほうは……。

○部会長　事実上説明ということですか、わかりました。

じゃあ、議事自体は、これで全て終了いたしました。円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。

じゃあ、事務局にお返しします。

○事務局　それでは資料5についてご案内いたします。

今後ですけれども、部会長でいらっしゃる委員から選定評価委員会会長へ報告をして、選定評価委員会会長から市長への答申というような流れになります。こちらは事務局のほうでほぼやれる流れじゃないかというふうに思います。

今日お集まりいただいている委員の先生におかれましては、今、録音しておりますテープから文字起こしをしまして、議事録を作成します。作成後、議事録をお送りさせていただきますので、ご確認をよろしくお願いします。

あと、今日いただいたご意見につきましては、評価シートが一番後ろに意見ということで記載をさせていただきます。9月の上旬を目途に、市のホームページのほうに公表するとともに、こちらの指定管理者でありますアクティオのほうに結果のほうを通知する予定でございます。

今後の予定については以上でございます。

○委員　ちょっと僕も制度にかかわることを言わせていただきたいんですが、実は、去年から。そういう部分について、やっぱり一応まとめようということで、去年やりましたかね。今年も、確か、10月にあるんで、多少いろんな部分を、ここでも言った部分はそこでも議論されて、市にぶついたり、総務省にぶつけてくれという形になると思います。

○司会　よろしいでしょうか。

では、長時間わたり慎重なご審議をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回中央区役所部会を閉会いたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。